

「私たちがIBMに戻しなさい」 問題だらけの会社分割法

要求は明快です

5月21日、日本IBM・HDD部門の会社分割法による日立GSTへの強制転籍の無効を求める裁判を支援する共同会議結成総会が開かれました。

「IBMに誇りを抱いて働いてきた社員が、会社の一方的な都合で、ある日突然日立の子会社の社員だと言われても到底、納得できない」、「本人の同意なく無理やり別会社に転属させられるのは、現代の人身売買」であり、憲法で保障された「職業選択の自由」を奪うものだ」としています。

拡がる支援体制

オウム事件やJR横浜事件で活躍した岡田尚弁護士をはじめ、230名の大規模弁護団、各分野の支援団体等、急速に支援の輪が広がっています。

IBMの労働条件が継承されない

日立でも

又、「継承される」としていた労働条件も、04春闘でJMIU日本IBM支部の要求に対しIBMの回答は6,300円、日立GSTは「日立出身社員との労働条件の統一性」を理由に3,600円の上上げ回答だったそうです。(日立はベアゼロ、定期昇級なし)この様に、分割強行1年後「労働条件の継承」は建前もかなくなり捨て、引き下げ攻撃を強めているとのこと。



日本共産党・畑野君枝参議院議員 日立小田原などの実態、国会で取り上げる

情報の集中する経済大国と情報過疎の途上国。デジタルデバイス(情報格差)は深刻な南北問題となっています。社内ではどうでしょうか。会社は従業員にたいして必要な情報や、サービスはすべて社内インフラを通じて案内しています。会社幹部のメッセージや会社情報、社長への提言、各種申請、個人情報や個人案内、プロ野球やサッカー観戦等イベントの案内、労組のHPもあります。ところが職場では専任職(旧

社内での情報格差

技能職)にパソコンを支給されている者は、上級専任職や一部の専任職の方だけです。メールアドレスをもっている方は少数。ライン等生産にたずさわる専任職は必要な情報やサービスに接する機会をもてず、大変な不利益を被ることになります。代理人力など事故につながりかねません。会社は責任をもつて専任職に情報に接する機会と時間を確保し保証するべきです。

青年の「正規社員としての雇用は」 日立等大企業の社会的責任

今年も日立RSD事業部では4月、学卒新入社員が20数名入社しました。その一方で生産現場で働く非正規社員(派遣・パート・アルバイト)が数百名を越え雇い入れられています。タイムカードドラックが5台も同時に設置され、いかにも急場をしのいでいる感じがします。非正規社員の年齢構成は当初20代、30代が大半でしたが、最近では50代近い方もみつけられ、年令制限もかなり緩やかにしているようです。賃金は時給950円、1,000円と低く、派遣元企業に厚生年金、健康保険制度がないところもあります。契約期間は3カ月、6カ月間に更新手続きを繰り返して、長い人で三年くらいこの契約状態を続けています。正規社員を「リストラ」し、

国会でもとり上げられる

以下、先の国会(厚生労働委員会)での論議の一部を紹介いたします。

畑野君枝 青年労働者で厚生年金に入れない、賃金も低い、派遣元企業に厚生年金、健康保険制度がないところもあります。契約期間は3カ月、6カ月間に更新手続きを繰り返して、長い人で三年くらいこの契約状態を続けています。正規社員を「リストラ」し、大きく言えばコンプライアンス

の問題かと思っています。畑野君枝君 この問題が今度の政府案で、その空洞化が解決できるのか伺いたい。公述人 景気の回復に関係なく、空洞化は加速すると思います。畑野君枝君 神奈川県の中小企業の実態、厚生年金含めて大企業との比較を含めて伺いたい。

公述人 大企業はリストラ、合理化で人員を減らしつつ放し、下請・請負・派遣・パートなどで労働力を切り替え大企業の仕事をやらしている。神奈川の企業の中でも、青年労働者が雑誌やチラシなどで例えば小田原の日立の前に八時半に来なさいと携帯で呼んできてその人たちが日立の中で働いている、そういう人たちが厚生年金入っているかというところに入っていない。

湘南の海

喜怒哀楽、人間の感情を四文字で総称した熟語ですが、大人になるとなぜか素直に表せなくなります。▼まずは「喜」、うれしこと、うれしこと、

の掛け合いで始まる漫才がありますが、ほんとうに最近嬉しかったことに出会いませんか。強いて言えば神社のケヤキに住みついたアオサギ、子育ての真つ最中です。毎日「ギャー、ギャー」と奇声をあげて近所迷惑ですが、私には、ちよつと嬉しいことです。▼「怒」、これはなぜか事欠きません。どれを例えてよいやら悩みます、イラク戦争の報道写真を見て驚いてしまいました。犠牲になったイラク人の遺体の脇で米兵が親指をたてて得意満面、まるで狩りで獲物をしとめたハンターです。戦争はここまで人間の心を荒ませるものなのでしょうか。▼「哀」、これも多い、でも、大人だからがまんする。最近の爪楊枝、歯にはさまったもの取るものなのに、楊枝が折れ歯にはさまる。それに最近の輪ゴム、何かの時に使おうと思って取ってあったもの、伸びきったり、すぐ切れてしまう。そして最近のホッチキスの弾、曲がったり、詰まったり、なんでスムーズに打てないの。と、おじさん・おばさん状態になりました。▼「楽」、梅雨が明けると夏がやって来ます。小田原は富士山や、丹沢、そして湘南海岸や、伊豆の海と、抜群の立地条件にあります。登山や、沢登り、マリンスポーツやサイクリングと夏休みが楽しみます。みなさんも年休を利用してリフレッシュしてみたいかがでしょうか。